

錦江スタンダード 「児童生徒に小・中学校9年間で身につけさせたいこと」(幼稚園・保育園から高校までの見通し)

項目	目指す子どもの指標(目安)		めざす子どもの指標(目安)				目指す子どもの指標(目安)	具体的な手だて	
	保育所・幼稚園		小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学生	高校生	学校	家庭・PTA・地域
脳の発達	発達隆盛期0～5歳 大脳辺縁系、間脳、脳幹の発達期(生命維持に関わる身体機能の発達期) そのために⇒早起き・規則		発達隆盛期6～14歳 大脳新皮質の発達期(知能、言語機能、知覚、情感、微細運動等の発達期)					正しい脳育て(子育て)方法を学び、子どものしつけに生かす	
体の発達 運動習慣		神経系の発達期3～8歳			第二次性徴10歳～	心肺機能の発達期13～15		できるだけ、歩かせる。 生涯にわたって、自己管理、健康を維持増進できる力を小さい頃から身につけさせる。	
	様々な外遊びを経験する		身長・体重成長隆盛期 男子9～15歳 女子8～13歳				筋肉・骨格系16歳		
	走る、投げる、飛ぶ、まわるなど様々な運動を経験する		道具を用いるなど様々なスポーツに取り組む				競技力向上に努める。少なくとも1日に30分間以上運動する。		
習慣	早寝・早起き・朝ご飯科学的に最適な睡眠時間 気持ちの良いあいさつ場にに応じた言葉遣い	登園の45分～1時間前には起床 朝ご飯を必ず食べる 5歳までは11時間以上 大きな声で元気よくあいさつする ○○さん、おはようございます。	20:00までに就寝 6:30までに起床 朝ごはんを必ず食べる 10時間程度	21:00までに就寝 6:30までに起床 朝ごはんを必ず食べる 10時間程度	22:00までに就寝 6:30までに起床 朝ごはんを必ず食べる 9時間程度	23:00までに就寝 家を出る1時間前までに起床 朝ごはんを必ず食べる 9時間程度	24:00までに就寝 家を出る1時間前までに起床 朝ごはんを必ず食べる 8時間15分程度	食事・睡眠が不足している人を把握し、必要に応じて健康相談、家庭への連絡をする	子どもと一緒に食事をする時間に余裕をもたせる すこやかチェックの実施
時間	時間を見て行動できる 約束の時間を守る	保育者の事前の指示を理解し、時計を見て動く 事前の指示を理解し、決められた時間を守る	次時の準備をしてから休む チャイムで席に着く(時計を見て、時間がわかる)	次時の準備をしてから休む チャイムで促されての行動をしない	次時の準備をしてから休む 自ら1分前着席をする	次時の準備をしてから休む 1分前着席、黙想をして待つ	ノーチャイムであるため、常に時計・腕時計等を確認しながら行動する。	声かけをする、相手を思いやる、ルール、マナーの指導をする 生徒会としての取組の実施	起床時間、登校時間、就寝時間を決める 外出の際は帰宅時間を確認する
身なり	身だしなみをととのえる	5歳までには、1人で着替えることができる	前夜のうちに、翌日の服装の準備(低学年までは保護者と一緒に準備、中学年までは保護者が最終確認。高学年以上は必要に応じ保護者が確認)を終える。学校の決まりを守った服装をする				学校の決まりを守った服装をする 社会通念に照らし合わせ、場に応じた服装をする	生徒会の取組として点検活動を行う 教職員による点検をする	学校のルールを知り、チェックを行う
学習習慣	家庭学習を毎日する(読書の時間も含む)	絵本やすかんを見る 読み聞かせをしよう	1年:30分以上 2年:40分以上	3年:50分以上 4年:60分以上	5年:70分以上 6年:80分以上	1年:90分以上 2年:100分以上 3年:120分以上	将来に見通しを持ち、必要なスキルを適切な方法で計画的に身につける。	「学習の手引き」を配布 各種便り等による啓発	学習環境の整備に努める 大人が学ぶ姿を子どもに見せる
家庭・地域・学校	帰宅時刻 TVやゲーム・ネットの時間 携帯電話・スマホなどの使い方 家庭・地域での役割・お手伝い	保護者とともに行動 夜間は絶対にさせない 動画に子守をさせない 保護者と一緒に出来ることをする	4～9月:18:00 10月～3月:17:00 家庭で決めたルールを守る 20:00以降は使用しない ネチケットを守る				部活動終了後速やかに下校 休業中は17時までに下校 家庭で決めたルールを守る 21:00以降は使用しない ネチケットを守る	門限を守る。遅くなる場合には、保護者に連絡を入れる。	下校指導 児童生徒・家庭への啓発 ゲーム・ネット依存等警鐘 ルールやモラルの指導
準備	身支度・学習用具をそろえる	前夜に、保護者と一緒に確認しながら準備できる	前夜に、保護者と一緒に準備できる	前夜に、時間割等を見て自分で準備し、保護者に確認してもらう	前夜に、時間割等を見て自分で準備しながら自分で準備する(必要に応じ保護者が確認)	提出物を含め、次の日の準備は前夜に済ませる	提出物を含め、次の日の準備は前夜に済ませる	生活の記録などを利用して、計画、実行、反省のサイクルを確立させる。	行き先を必ず確認する 定期的な自転車点検をする 危険な目にあつたときの対処法を確認する
交通安全	自分の身を自分で守る 交通ルールを守る	単独で行動させない。	「110番の家」を知る 交通ルールを知る。また、守る。	「110番の家」を知る 交通ルールを知る。また、守る。	「110番の家」を知る 交通ルールを知る。また、守る。	「110番の家」を知る 交通ルールを知る。また、守る。	「110番の家」を知る 交通ルールを知る。また、守る。	自転車点検、安全な乗り方の指導、交通マナー指導の徹底	行き先を必ず確認する 定期的な自転車点検をする 危険な目にあつたときの対処法を確認する
キャリア教育	人間関係形成・社会形成能力 自己理解・自己管理能力 課題対応能力 キャリアプランニング能力	家族や地域の人と過ごす 徐々に家庭での役割を持つ 好きなもの、大切なものをもつ。 決められた時間やきまりを守る。 自分のことは自分でする。	あいさつ・返事をする。 友達と仲良く遊び、助け合う 家庭での簡単な役割を持つ 自分と友達のよいところを認め、励まし合う。 互いの役割や役割分担の必要性が分かる。	自分と友達のよいところを認め、励まし合う。 互いの役割や役割分担の必要性が分かる。 自分のよいところに気づける。 自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで行う。 自分の仕事に対して、責任をもち、最後までやり通す。	異年齢集団の活動に積極的に参加し、役割と責任を果たす。 社会生活に様々な役割があることやその重要性がわかる。 自分の長所や短所に気づき、自分らしさを発揮する。 自分の仕事に対して責任をもつ。	多様な考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができる。 自分の置かれている状況を理解し、役割を果たしながら、他者と協力・協働して活動に参加することが出来る。 組織との相互関係を保ちつつ、自分自身、自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動することができる。 自らの思考や感情を律したり、自己の成長のために積極的に学ぶようになり	多様な考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができる。 自分の置かれている状況を理解し、役割を果たしながら、他者と協力・協働して活動に参加することが出来る。 組織との相互関係を保ちつつ、自分自身、自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動することができる。 自らの思考や感情を律したり、自己の成長のために積極的に学ぶようになり	学級や学校の課題を、自分たちで解決させる。自治的な風土を育てる。 職業、就業者等に触れる機会をできるだけ設ける。 キャリアパスポートを計画的かつ定期的に記入し、活用する。 学習や行事等の際に、目標を立て、見通しをもたせ、振り返りを繰り返す。(その活動の状況に対する評価を返す。)	進路や職業、キャリア等に関して講話をする機会をつくる。 キャリアパスポートを親子で見える機会をつくる。 ニュースや世の中での話題になっていることに関して、関心をもち、自己(保護者や家族)の体験や仕事に関わる話をする機会をつくる。 家庭の中で役割をもたせ、子どもも成績、学校の生活の様子等に関心をもち、錦江スタンダードもみて、子に見通しをもたせる。